

## 令和2年度ふじみ野市下水道事業会計予算の概要

## 1 総括

本予算は、令和2年度の下水道事業に係る予算について編成を行いました。

## 2 業務の予定量は、次のとおりです。

(1) 水洗化戸数	49,800戸
(2) 年間総排水量	14,209,450 m <sup>3</sup>
(3) 一日平均排水量	38,930 m <sup>3</sup>
(4) 主要な建設改良事業	
ア 汚水施設整備事業	21,780千円
イ 雨水施設整備事業	94,611千円
ウ 流域下水道事業	144,019千円

## 3 予算規模

## (1) 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりです。

## 収入

下水道事業収益	1,757,859千円
営業収益	1,327,737千円
営業外収益	430,121千円
特別利益	1千円

## 支出

下水道事業費用	1,604,122千円
営業費用	1,521,254千円
営業外費用	74,868千円
特別損失	3,000千円
予備費	5,000千円

## (2) 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりです（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額235,978千円は、過年度分損益勘定留保資金214,792千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額21,186千円で補填します。）。

## 収入

資本的収入	243,399千円
企業債	219,600千円
負担金	1,714千円
他会計負担金及び補助金	14,085千円
国庫補助金	8,000千円

## 支出

資本的支出	479,377千円
-------	-----------

建設改良費 260,410千円  
 企業債償還金 218,967千円

4 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりです。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
公共下水道事業	75,700千円	普通貸借又は証券発行	3.0%以内。ただし、利率見直し方式で借り入れられる資金について利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率とする。	政府資金については、その融資条件により、銀行その他の場合にはその債権者と協定するものによる。ただし、企業財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、又は繰上償還若しくは低利に借り換えすることができる。
流域下水道事業	143,900千円	同上	同上	同上
計	219,600千円			

5 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、営業費用、営業外費用及び特別損失の間の流用とします。

6 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければなりません。

(1) 職員給与費 91,245千円

7 たな卸資産の購入限度額は、3,565千円です。

8 主要施策の状況

(1) 令和元年台風第19号の影響により緊急を要すると判断されるため、当初は3年間で行う予定でしたが令和2年度中に完了する計画で福岡江川護岸嵩上げ工事を行います。

予算額 29,270千円（継続）

(2) 長期予測を踏まえた改築費用の平準化を図るため、ストックマネジメント計画策定業務委託を行います。

予算額 22,000 千円（国庫補助対象・補助率2分の1）（継続）

(3) 富士見市が設置する砂川堀第2雨水幹線ゲート施設負担金を支払います。

予算額 52,030 千円（再計上）（負担割合52%）